

=====

<水球陣>関東学生リーグ第7戦

H28.6.11 対防衛大 @専修大学生田プール

東大 4 5 4 2 計15

防衛大 1 0 1 3 計5

得点者：岡(1)、梶原(2)、細江(2)、山田(9)、池亀(1)

先週の試合は負けてしまった東大だが、今日の相手は防衛大である。確実に勝って明日以降の順位決定トーナメントに弾みをつけたい。

第1ピリオド

序盤攻防が続いた後、東大のカウンターで池亀のパスから細江が先制点を決める。流れに乗った東大は山田、池亀が追加点を挙げるも、その後相手にミドルシュートを決められてしまう。しかし終盤山田がカウンターの落ち着いた決め 3 点リードでこのピリオドを終える。

第2ピリオド

このピリオド、東大は危なげなく防衛大の攻撃を防ぎ続け、無失点とする。その間にカウンターやセットで次々と得点を挙げ、このピリオドで得点差を8点に広げる。

第3ピリオド

追いつこうと果敢に攻めてくる相手を落ち着いてパスカットし続け、逆に山田がカウンターを決める。直後の相手フローターの強烈なバックシュートを宮内が止め、その後東大は退水のチャンスに得点する。しかし、必死な相手の攻撃で退水を取られ、失点してしまう。だがそれからは落ち着いたディフェンスで失点を防ぎ、こちらは山田の冴えわたるシュート等で追加点を挙げ続け、11点差で第3ピリオド終了。

第4ピリオド

開始直後、退水で作られたピンチにこぼれ球を押し込まれ1点を返されてしまう。落ち着いて得点したい東大だがミスで攻めきれずに、更に相手に連続得点を許してしまう。直後から梶原が連続でシュートを決めて、試合終了となる。

第3ピリオドまでは失点の少ない良い試合を展開するも、点差の開いた第4ピリオドで気のゆるみからか連続で得点されてしまった。勝ちにしたものの意識面で課題の残る試合となった。最後に監督を務めてくださった疋田さん、応援に来てくださった洲鎌さん、只野さん、お忙しい中ありがとうございました。

(文責 鈴木陽介)

